

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成23年11月24日 (2011.11.24)

【公開番号】特開2009-263221(P2009-263221A)

【公開日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2009-87788(P2009-87788)

【国際特許分類】

C 0 1 F 7/00 (2006.01)

C 0 8 K 3/26 (2006.01)

C 0 8 L 27/06 (2006.01)

【F I】

C 0 1 F 7/00 C

C 0 8 K 3/26

C 0 8 L 27/06

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月6日 (2011.10.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

ハイドロタルサイトは一般的に、 $Mg_6Al_2(OH)_{16}CO_3 \cdot 4H_2O$ で示される層状の化合物で、 $Mg - Al$ からなる層の層間に CO_3 、 H_2O 、 OH^- が挿入されている。構造中の Mg^{2+} の一部もしくは全部を Ni^{2+} 、 Zn^{2+} 、 Sr^{2+} や Ca^{2+} 等の2価カチオンと置き換えることができ、同様に Al^{3+} の一部もしくは全部を Fe^{3+} や Cr^{3+} 等の3価カチオンと置き換えることができる。さらに、 CO_3^{2-} も SO_4^{2-} や Cl^- 等のアニオンと交換することができる。また、一般的に2価と3価のカチオンのモル比を変えても構造を保持し、モル比が2～4の範囲で層状構造をとることができる。これら構成元素の組成や2価と3価のカチオンの比率を変えた層状の化合物を一般的にハイドロタルサイト型化合物と呼ぶ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

本発明に係る溶出する導電性イオンが少ないハイドロタルサイト型化合物粒子粉末を用いることにより、樹脂に高い電気絶縁性を持たせることが出来る。また、熱安定性及び着色の抑制も改善することが出来る。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 9 2 】

本発明に係るハイドロタルサイト粒子粉末を用いることで含塩素樹脂組成物材料において、樹脂組成物の電気絶縁性、着色の抑制及び熱安定性を改善させることができる。このため、より多くのアプリケーションへの展開が可能となる。